

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北但広域療育センター 放課後等デイサービス 奈佐事業所「らみい」		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 26日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	104	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2025年 9月 18日		2025年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の中で気持ちについて考える機会やコミュニケーションについての支援を多く実施している。	今だけでなく小学校卒業後やその先の将来を見据えながら、通われているお子さん一人ひとりにあった方法で支援を行っている。	今後も新しいプログラムを取り入れながら、一人ひとりに合った支援をおこなう。
2	多職種が働いており連携がとりやすい ・療法士(PT・ST)がいる ・療育センターで保育所等訪問支援事業を行っている	ご家族からの相談があった場合には連携を図るようにしている。またいろいろな視点でお子さんを支援できるよう療法士に支援の相談をしたり、保育所等訪問へも同行し学校での様子等も知るようにしている。	今後も多職種間での連携を密にとりながら、チームとして支援する。
3	土曜日に(月2回)チャレンジ療育という名前で普段のグループ療育とは違い、屋外での活動を中心とした内容の支援を行っている。	年間を通じていろいろな経験が積めるように、季節に応じた活動やご本人が楽しめる活動などを意識しながらプログラムを決めている。	今後も新たな活動を取り入れながら、様々な経験を通して子ども達が成長できるよう支援する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋の数が少ない	療育の部屋と療法士が使用する部屋を分けて使用しているが、個別対応等が必要になった時に部屋が足りないと感じる時がある。	部屋の使い方、活用できるスペースの検討を行う。
2	立地条件	豊岡の市街地から少し離れており、遠いと感じる方もおられる。	遠くても通いたいと思っていただけるよう療育内容をより魅力あるものにする
3	情報発信が少ない	発信できる情報がパンフレットのみ。	パンフレット以外での情報発信の方法を検討し、よりらみいのイメージを持っていただけるように検討する。